確率の 意味

中2／解き方プリント 項目1／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 確率は 何回も くり返したとき 起こる 割合が 近づく 値。「6回に 1回は 必ず」ではない

きまり② 確率 ＝ 条件に 合う 場合の数 ÷ 全部の 場合の数（約分する）

きまり③ ②が 使えるのは、どの 結果も 同じ 程度に 起こる とき だけ。結果は 1つずつ 区別して 数える

れい 10本中 5本が 当たりの くじを 1本 引く。10本の どれも 同じ 程度 → 当たりは 5通り、全部は 10通り → $\frac{5}{10} = \frac{1}{2}$

◯ くじ 10本を 1本ずつ 区別して 数える

× 当たり・はずれの 2通りだから $\frac{1}{2}$

- 「確率の意味・同様に確からしい」の 問題。 大問1は、文が 正しいか まちがいかを ○で かこむ。
- 大問2は、同じ 程度に 起こる ものの 記号を、すべて 四角に 書く（「、」で 区切る）。
- 大問3は、欄の ことばが「出方」の 四角には 数だけ、「確率」の 四角には 約分した 分数を 書く。
- 大問4は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答え（確率は 約分した 分数）を、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 「必ず」と いえるか

(1) さいころで 3の目が 出る 確率は $\frac{1}{6}$ だから、6回 投げると 3の目は 必ず 1回 出る。 正しい まちがい

(2) 5回 続けて 裏が 出た。表の 確率は $\frac{1}{2}$ だから、6回目は 必ず 表が 出る。 正しい まちがい

(3) 確率 $\frac{1}{10}$ の くじを、もどしながら 10回 引く。1回も 当たらない ことが ある。 正しい まちがい

大問2 同じ 程度に 起こる ものを 選ぶ

どの 結果も 同じ 程度に 起こると いえる ものを すべて 選ぶ ［　　］

ア 8本中 3本が 当たりの くじを 1本 引く。結果は「当たり」「はずれ」

イ 番号 1〜8 の 8本の くじから 1本 引く。結果は 引いた 番号

ウ 白玉 4個、赤玉 1個の 袋から 1個 取り出す。結果は「白」「赤」

エ ゆがみの ない 硬貨を 1枚 投げる。結果は「表」「裏」

大問3 硬貨を 2枚 投げる

10円玉と 100円玉を 同時に 投げる。2枚を 区別して 数える

全部の 出方 ［　　］ 通り　表と 裏が 1枚ずつ ［　　］ 通り　その 確率 ［　　］

大問4 答案を 調べて 直す

(1) さくらさん「硬貨2枚を 同時に 投げる。出方は 表表・表裏・裏裏の 3通りだから、2枚とも 裏の 確率は $\frac{1}{3}$」

正しい まちがい　　正しい答え ［　　］

(2) さくらさん「当たり 4本・はずれ 11本の くじ。どれも 同じ 程度に 引かれるから、当たりの 確率は $\frac{4}{15}$」

正しい まちがい　　正しい答え ［　　］

見直し □「必ず」と 読んでいない □ 結果を 1つずつ 区別した □ 同じ 程度か 確かめた まちがい（　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

確率の 意味【こたえ】

中2／解き方プリント 項目1／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 確率は 何回も くり返したとき 起こる 割合が 近づく 値。「6回に 1回は 必ず」ではない

きまり② 確率 ＝ 条件に 合う 場合の数 ÷ 全部の 場合の数（約分する）

きまり③ ②が 使えるのは、どの 結果も 同じ 程度に 起こる とき だけ。結果は 1つずつ 区別して 数える

れい 10本中 5本が 当たりの くじを 1本 引く。10本の どれも 同じ 程度 → 当たりは 5通り、全部は 10通り → $\frac{5}{10} = \frac{1}{2}$

◯ くじ 10本を 1本ずつ 区別して 数える

× 当たり・はずれの 2通りだから $\frac{1}{2}$

大問1 「必ず」と いえるか

(1) さいころで 3の目が 出る 確率は $\frac{1}{6}$ だから、6回 投げると 3の目は 必ず 1回 出る。 正しい **まちがい**

(2) 5回 続けて 裏が 出た。表の 確率は $\frac{1}{2}$ だから、6回目は 必ず 表が 出る。 正しい **まちがい**

(3) 確率 $\frac{1}{10}$ の くじを、もどしながら 10回 引く。1回も 当たらない ことが ある。 **正しい** まちがい

大問2 同じ 程度に 起こる ものを 選ぶ

どの 結果も 同じ 程度に 起こると いえる ものを すべて 選ぶ → **イ、エ**

ア 8本中 3本が 当たりの くじを 1本 引く。結果は「当たり」「はずれ」

イ 番号 1〜8 の 8本の くじから 1本 引く。結果は 引いた 番号

ウ 白玉 4個、赤玉 1個の 袋から 1個 取り出す。結果は「白」「赤」

エ ゆがみの ない 硬貨を 1枚 投げる。結果は「表」「裏」

大問3 硬貨を 2枚 投げる

10円玉と 100円玉を 同時に 投げる。2枚を 区別して 数える

全部の 出方 **4** 通り　表と 裏が 1枚ずつ **2** 通り　その 確率 **$\frac{1}{2}$**

大問4 答案を 調べて 直す

(1) さくらさん「硬貨2枚を 同時に 投げる。出方は 表表・表裏・裏裏の 3通りだから、2枚とも 裏の 確率は $\frac{1}{3}$」

正しい **まちがい**

正しい答え **$\frac{1}{4}$**

(2) さくらさん「当たり 4本・はずれ 11本の くじ。どれも 同じ 程度に 引かれるから、当たりの 確率は $\frac{4}{15}$」

正しい まちがい

正しい答え **同じ**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) まちがい・(2) まちがい・(3) 正しい。確率は 起こりやすさの 度合いで、回数の 約束では ない。6回 投げて 1回も 出ない ことも、2回以上 出る ことも ある。前の 結果は 次の 1回に えいきょうしない。

大問2 答えは イ、エ（順は ちがっても ○）。ア・ウ は 結果の 起こりやすさが ちがう（本数・個数が ちがう）ので、結果の 種類の 数では 数えられない。

大問3 全部の 出方は 表表・表裏・裏表・裏裏の 4 通り（表裏と 裏表は 別。2枚を 区別して 数える）。表と 裏が 1枚ずつは 2 通りで、確率は $\frac{1}{2}$。

大問4 (1) は まちがい（正しい 答えは $\frac{1}{4}$）。出方を 区別せず 3通りと 数えたのが まちがい。(2) は 正しい（四角は「同じ」）。

別解の 扱い：確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は × ）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。